

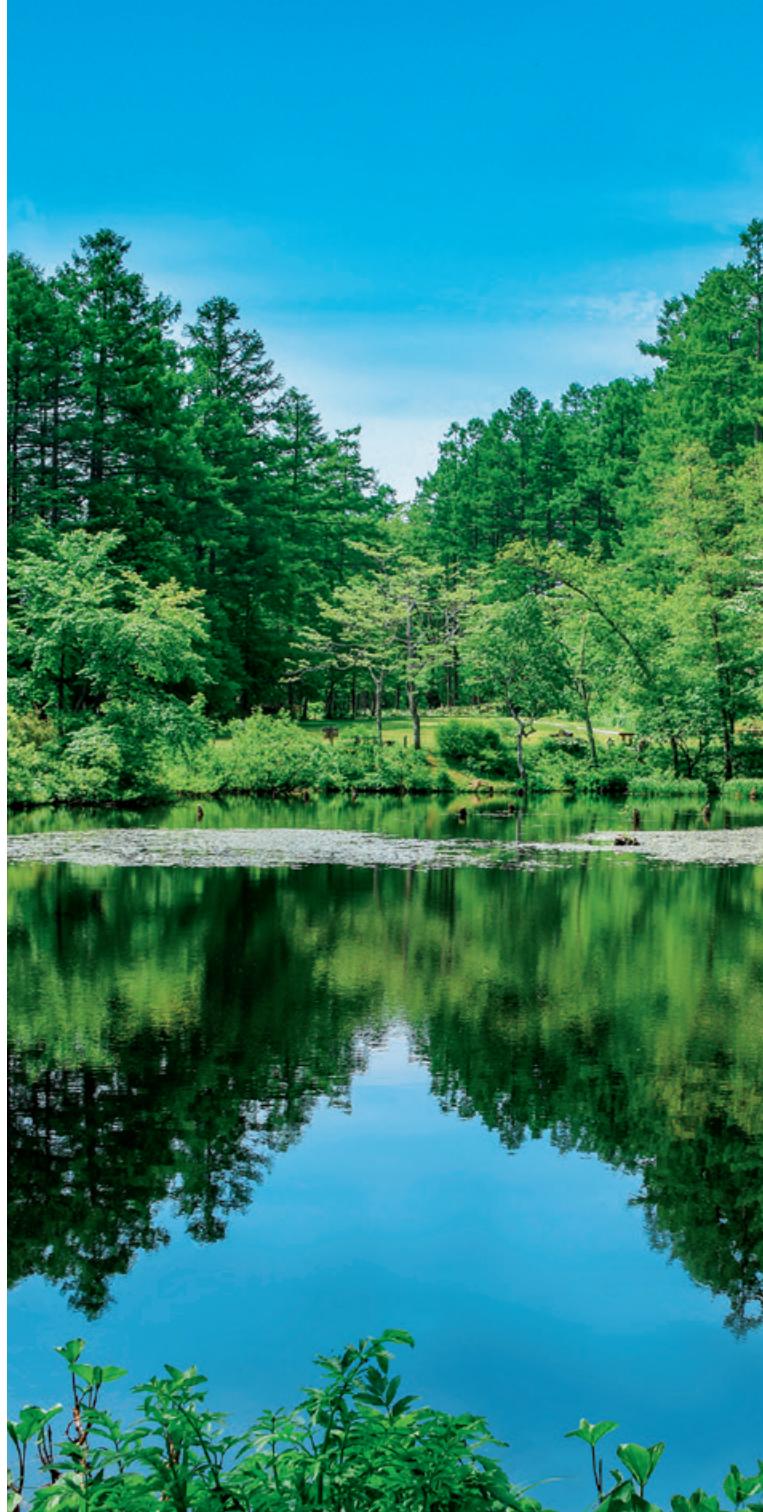
第85期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで



新光電気工業株式会社

証券コード6967



株主の皆様には、平素よりひとかたならぬご支援を賜り厚く御礼申しあげます。第85期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

代表取締役社長

藤田正美



新型コロナウイルス感染症に罹患された方々に心よりお見舞い申しあげます。また、感染拡大防止に向けご尽力されている皆様に深く感謝申しあげます。

第5世代移動通信システム（5G）の実用化等を背景とするビッグデータ、AIなどの活用の広がりが、経済や社会の仕組みに変化をもたらし、これまでもとは次元の異なるイノベーションを生み出す可能性を秘めており、半導体はそのキーテクノロジーとして革新を続けていくことが期待されています。また、自動運転等の技術開発が加速する自動車や急速な拡大が想定されるIoT関連市場、さらに、人々の健康を支える医療分野など、半導体は、今後も市場を拡大することが見込まれています。

当社グループは、半導体デバイスの優れた機能

を人々の生活のなかへともたらずインターコネクトテクノロジーをベースに、高い競争力を持つ製品の開発に努め、お客様にとって価値の高い製品・サービスをご提供することにより、お客様の成功を支え、自らの発展・成長を目指してまいります。また、キャッシュ・フローを重視し、常に利益を創出できる強固な経営基盤の確立に努めてまいります。

さらに、当社グループの企業理念・指針である「SHINKO Way」の実践を通じ、ステークホルダーの方々との調和をはかり、豊かな社会づくりに貢献するべく、事業を展開してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

2020年6月

■ 2019年度の事業概況

当期の半導体業界は、期後半にかけて、半導体需要の底打ち感が見られたものの、スマートフォン市場の低迷などにより、メモリー需要が大幅に減少し、在庫調整の影響を大きく受けるなど、厳しい状況が継続しました。

このような環境の下、当社グループでは、次世代フリップチップタイプパッケージの生産体制強化を目的として2018年度より着手している設備投資の追加投資を決定し、順次生産ライン構築を行うなど、成長市場向けに重点的に経営資源を投下しました。また、市況悪化等による厳しい状況にあって、積極的な販売活動等を展開するとともに収益確保に注力しました。これらの結果、フリップチップタイプパッケージ、ヒートスプレッダーは増収となった一方、セラミック静電チャックは期前半における投資抑制の影響により売上が減少し、プラスチックBGA基板、リードフレームは減収となりました。これらにより、当期の連結売上高は1,483億32百万円（対前期比4.3%増）となりました。収益面については、期後半以降、増収による採算性改善などにより損益が好転したものの、期前半においてセラミック静電チャック等の売上が大きく減少し、次世代フリップチップタイプパッケージ生産ライン立上げ費用の増加や、為替相場が円高水準で推移したことなどにより、経常利益は48億13百万円（対前期比37.1%減）、また、親会社株主に帰属する当期純利益は26億90百万円（同6.5%増）となりました。

単独決算につきましては、売上高1,428億23百万円（対前期比5.0%増）、経常利益55億47百万円（同35.4%減）、当期純利益35億19百万円（同1.5%減）を計上いたしました。なお、当期の配当につきましては、期末配当金を12円50銭とし、中間配当金の12円50銭とあわせて年間25円とさせていただきます。

■ 今後の見通し

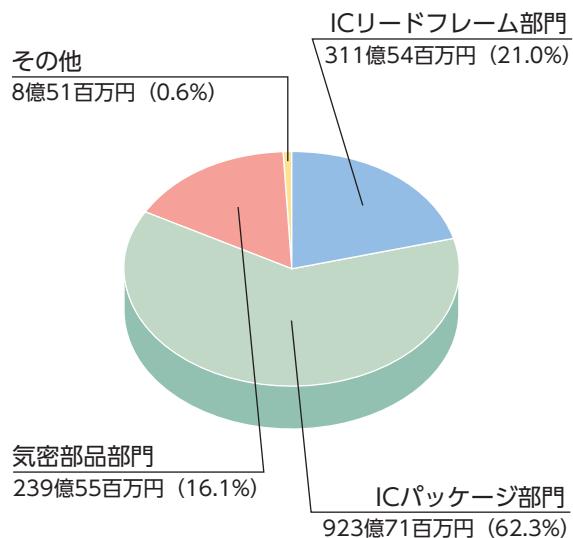
今後の半導体業界は、新型コロナウイルス感染症の影響長期化による実体経済の悪化が、自動車向けなどの半導体需要に波及するなど、深刻な影響を与えることが懸念されます。一方、第5世代移動通信システム（5G）の実用化やIoT・AIの活用進展等により需要拡大が見込まれるサーバー向け、技術開発が加速する自動車向けやテレワーク等の増加により市場拡大が想定されるモバイル機器向けなど、今後、半導体需要は幅広い分野において中長期的に大きく増加することが想定されるものの、高度化する市場ニーズに対し、迅速かつ柔軟に対応し得る開発・生産体制の構築を要するなど、厳しい事業環境が続くものと見込まれます。

このような環境の下、当社グループは、生産性向上、経費削減の取り組み等を強化し、経営資源の最適化に努めるとともに、高い成長が見込まれる市場向けに重点的に経営資源を投下し、今後の発展を目指してまいります。次世代フリップチップタイプパッケージの生産体制強化のための設備投資については、今後、生産ラインの順次稼働をはかり、データセンター向けなどの高性能半導体の需要拡大を確実に捉えるべく注力してまいります。また、新井工場（新潟県妙高市）に生産ラインを設置した次世代プラスチックBGA基板の拡販ならびにサーバー等のCPU用に受注増加が見込まれるヒートスプレッダーの生産体制強化をはかるなど、半導体の高性能化に寄与する当社製品の売上拡大をはかってまいります。

当社グループは、引き続き成長が見込まれる半導体市場にあって、常にお客様のニーズを起点とし、機能・性能、コスト、品質すべてにおいてお客様にとって価値の高い製品・サービスを提供することにより、「限りなき発展」を果たしてまいりたい所存であります。

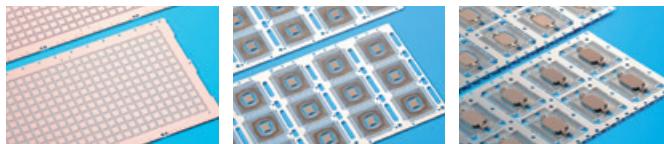
部門別の状況

部門別売上高構成



※ () 内の数字は構成比率を表わしております。

ICリードフレーム部門



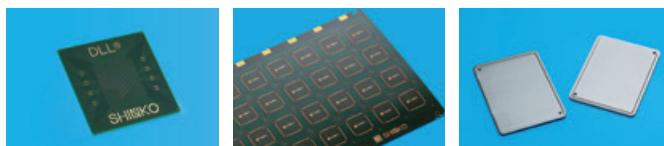
QFNタイプ
リードフレーム

プレスリードフレーム

かしめリードフレーム

搭載製品例 スマートフォン、自動車、パソコン、家電、産業機器他

ICパッケージ部門



フリップチップタイプ
パッケージ

プラスチック
BGA基板

ヒートスプレッダー

搭載製品例 パソコン、サーバー、スマートフォン、民生機器他

気密部品部門



セラミック
静電チャック

光通信用ガラス端子

光学機器用ガラス端子

搭載製品例 半導体製造装置、自動車、民生機器、通信機器他

売上高 **311億54百万円** (前期比 **↓** 2.9%)

プレスリードフレームは、メモリー向け等の需要低迷が継続したことから、売上が減少し、また、エッチングリードフレームは、期前半において、QFNタイプが在庫調整の影響を大きく受けたことなどにより、減収となりました。この結果、当部門の売上高は311億54百万円（対前期比2.9%減）となりました。

部門別売上高 (百万円)



売上高 **923億71百万円** (前期比 **↑** 11.3%)

フリップチップタイプパッケージは、パソコン向けを中心に売上が増加し、CPU向けヒートスプレッダーはサーバー向けをはじめ増収となりました。一方、プラスチックBGA基板は、スマートフォンのメモリー向け等の需要が減少し、IC組立は自動車向けに受注は増加したものの、ハイエンドスマートフォン向けの在庫調整等により減収となりました。この結果、当部門の売上高は923億71百万円（対前期比11.3%増）となりました。

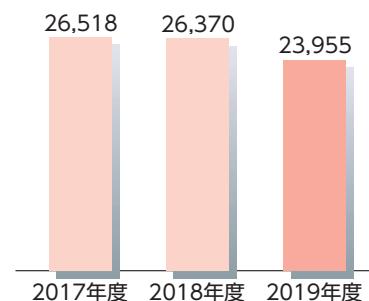
部門別売上高 (百万円)



売上高 **239億55百万円** (前期比 **↓** 9.2%)

半導体製造装置向けセラミック静電チャックは、第3四半期以降、需要が大きく回復したものの、第2四半期までメモリー市況悪化等による投資抑制の影響を受けたことにより売上が減少し、光素子用ガラス端子は、第5世代移動通信システム（5G）関連需要の増加に伴い、光通信向けの売上が増加した一方で、光学機器向けは在庫調整の影響を受け、減収となりました。この結果、当部門の売上高は239億55百万円（対前期比9.2%減）となりました。

部門別売上高 (百万円)



業績の推移

〔連結〕

■ 売上高



■ 経常利益 / 親会社株主に帰属する当期純利益



■ 総資産 / 純資産



■ 設備投資

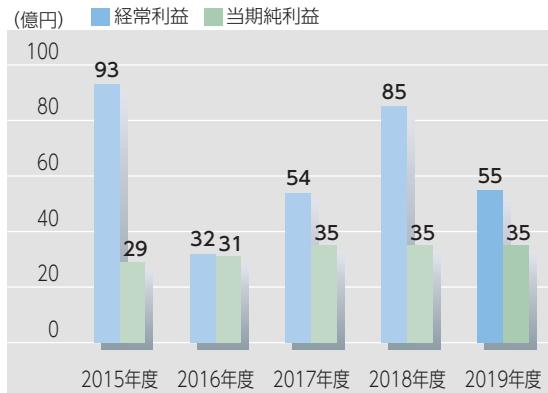


〔単独〕

■ 売上高



■ 経常利益/当期純利益



■ 営業成績および財産の状況の推移

区分	年度	2015年度 〔第81期〕	2016年度 〔第82期〕	2017年度 〔第83期〕	2018年度 〔第84期〕	2019年度 〔第85期(当期)〕
〔連結〕						
売上高 (百万円)		143,453	139,890	147,113	142,277	148,332
経常利益 (百万円)		10,135	3,468	5,730	7,649	4,813
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)		3,476	3,007	3,664	2,526	2,690
1株当たり当期純利益		25円74銭	22円26銭	27円13銭	18円70銭	19円92銭
総資産 (百万円)		180,886	180,339	183,759	180,793	203,979
純資産 (百万円)		131,834	133,435	134,606	139,200	137,658
1株当たり純資産		975円90銭	987円75銭	996円42銭	1,030円43銭	1,019円1銭
設備投資 (百万円)		15,508	20,973	16,813	13,937	15,031
研究開発費 (百万円)		3,643	3,499	3,440	3,221	2,849

〔単独〕

売上高 (百万円)	134,960	132,504	139,464	136,003	142,823
経常利益 (百万円)	9,319	3,247	5,466	8,584	5,547
当期純利益 (百万円)	2,958	3,173	3,502	3,572	3,519

■ 連結貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位：百万円)			(単位：百万円)		
科目	当期	前期	科目	当期	前期
資産の部	203,979	180,793	負債の部	66,320	41,592
流動資産	104,656	103,961	流動負債	61,774	36,477
固定資産	99,322	76,831	固定負債	4,546	5,115
有形固定資産	93,365	70,397	純資産の部	137,658	139,200
無形固定資産	1,167	1,234	株主資本	142,572	143,259
投資その他の資産	4,789	5,199	資本金	24,223	24,223
資産合計	203,979	180,793	資本剰余金	24,129	24,129
			利益剰余金	94,312	94,999
			自己株式	△ 92	△ 92
			その他の包括利益累計額	△ 4,914	△ 4,058
			負債純資産合計	203,979	180,793

■ 連結損益計算書

2019年4月1日～2020年3月31日

(単位：百万円)		
科目	当期	前期
売上高	148,332	142,277
売上原価	132,771	125,095
売上総利益	15,561	17,182
販売費及び一般管理費	12,333	12,334
営業利益	3,227	4,848
営業外収益	1,639	2,828
営業外費用	54	26
経常利益	4,813	7,649
特別損失	873	3,860
税金等調整前当期純利益	3,940	3,789
法人税、住民税及び事業税	731	1,851
法人税等調整額	517	△ 588
親会社株主に帰属する当期純利益	2,690	2,526

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

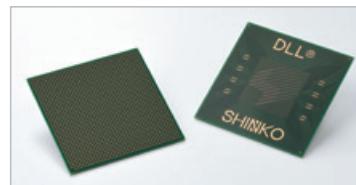
2019年4月1日～2020年3月31日

(単位：百万円)		
科目	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,696	18,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 35,591	△ 15,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,939	△ 3,441
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 314	739
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,269	648
現金及び現金同等物の期首残高	46,315	45,666
現金及び現金同等物の期末残高	40,046	46,315

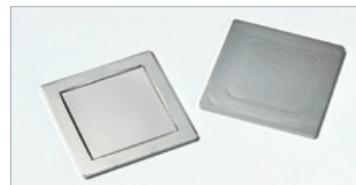
第5世代移動通信システム（5G）を支える当社製品

第5世代移動通信システム（5G）を用いた通信サービスの実用化が世界各国において始まり、「高速・大容量」をはじめとする飛躍的な性能を持つ通信ネットワークが、今後、順次整備され、これらによって私たちの身の回りのさまざまな機器が5Gのネットワークに繋がり、人々の生活やビジネス、社会に大きな変化をもたらすことが想定されます。そして、5Gを支えるキーデバイスとして、半導体の需要はさらに拡大していくものと見込まれます。

当社は、高丘工場（長野県中野市）等において生産体制強化をはかっているフリップチップタイプパッケージをはじめ、サーバー向けのヒートスプレッダー、小型・薄型化と大容量化がさらに進む先端メモリー用のプラスチックBGA基板など、5Gを支える高性能半導体向けに多くの製品を供給しており、今後、これらの製品の生産体制整備と拡販をはかり、さらなる発展を目指してまいります。



フリップチップタイプパッケージ



ヒートスプレッダー

サステナビリティへの取り組み

近年、気候変動をはじめとする深刻な社会課題の顕在化に伴い、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの重要性が一層高まっています。

戦後の混乱期に、電球の再生事業からスタートした当社は、地域の雇用創出と地球環境への配慮を念頭においた経営を一貫して行ってまいりました。創業時から受け継いできたこの姿勢は、国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）が目指す社会と方向性を同じくするものです。

当社は、2019年度から開始する「第9期環境行動計画」において、SDGsへの対応を目標に掲げ、環境負荷低減に向けた活動をさらに強化しております。

今後もこれらのサステナビリティへの取り組みの充実に努め、企業としての社会的責務を果たすとともに、企業価値の向上をはかってまいります。

当社グループの取り組みについては、当社ウェブサイトおよび毎年発行しております「環境・社会報告書」をご覧ください。

<https://www.shinko.co.jp/sustainability/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



会社の概要

Corporate Data

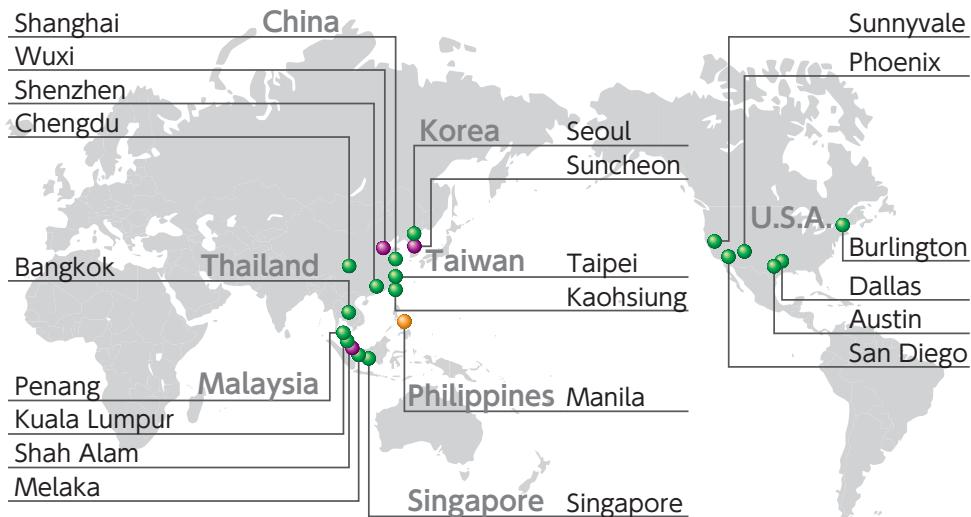
(2020年3月31日現在)

取締役

(2020年6月24日現在)

- 商号 新光電気工業株式会社
- 設立年月日 1946年9月12日
- 本社 長野県長野市小島田町80番地
電話 (026) 283-1000 [代表]
- 主な事業内容 プラスチック・ラミネート・パッケージ、
リードフレーム、ガラス端子、ヒートスプレッダー、
セラミック静電チャックなどの製造・販売、
ICアSEMBリ
- 従業員数 4,132名 (連結4,936名)
- 工場等 更北、若穂、高丘、新井、京ヶ瀬、
新光開発センター、栗田総合センター
- 営業所等 東京、大阪、仙台、長野、名古屋、大分、福岡、
マニラ
- グローバルネットワーク

代表取締役社長	藤田 正 美
代表取締役 専務執行役員	長谷部 浩
取締役 専務執行役員	小平 正 司
取締役 常務執行役員	小澤 隆 史
社外取締役	新 美 潤
取締役 常勤監査等委員	伊藤 明 彦
社外取締役 監査等委員	荒木 泉 子
社外取締役 監査等委員	小林 邦 一



● 営業拠点 ● 駐在員事務所 ● 生産拠点

株式の状況

Shareholders' Data

(2020年3月31日現在)

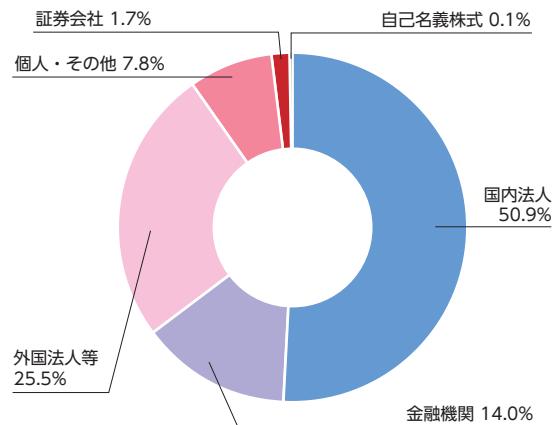
■発行可能株式総数	540,000,000株	■資本金	24,223,020,480円
■発行済株式の総数	135,171,942株	■株主数	12,180名
■大株主			

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
富士通株式会社	67,587	50.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,160	3.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,951	2.93
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,765	2.05
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,319	1.72
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,222	1.65
株式会社八十二銀行	1,836	1.36
J. P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S. A. 1300000	1,782	1.32
GOLDMAN,SACHS& CO.REG	1,616	1.20
GOVERNMENT OF NORWAY	1,560	1.16

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況

(2020年3月31日現在)



株主優待制度について

株主の皆様の日頃のご支援に感謝し、株主優待制度を導入しております。

■対象となる株主様

当社株式を1年以上継続保有(※)されているとともに、毎年3月31日を基準日として300株以上を保有されている株主の皆様

※「1年以上継続保有」とは、3月31日および9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、基準日を含めて3回以上連続して記載されていることをいいます。

■優待内容

当社工場が所在する長野県・新潟県の特産品(3,000円相当)または社会貢献活動への寄付

■ご案内時期

6月上旬

■優待品の一例



※写真は全てイメージです。

株主優待制度の詳細は、当社ウェブサイトをご覧ください。

新光電気工業 株主優待 検索

CLICK!



<https://www.shinko.co.jp/ir/benefit/>

株式事務のご案内

■株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

(連絡先) 三菱UFJ信託銀行株式会社
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

(郵送先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

■基準日

定時株主総会関係
配当金受領株主確定日

3月31日
3月31日および中間配当金の支払いを行う
ときは9月30日

■公告方法

電子公告
当社は、公告を下記ウェブサイトに掲載して
おります。

<https://www.shinko.co.jp/ir/kk/>

ただし、事故その他やむを得ない事由によっ
て電子公告による公告をすることができない
場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他の各種
お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関（証券
会社等）にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、
三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連
絡先にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国各支店におい
てもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払
いいたします。



新光電気工業株式会社

〒381-2287 長野県長野市小島田町 80 番地
電話(026)283-1000〔代表〕FAX(026)284-8861
<https://www.shinko.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



地球環境に配慮した植物油
インキを使用しています。